

オプションレンズ 取扱説明書

安全上のご注意

(必ずお守りください)

交換作業の前に、この「安全上のご注意」をよく読んでください。交換作業時の事故防止と、作業後の製品安全確保のために、必ずお守りいただきたいことを次のように説明しています。

- 誤った作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の絵表示で区分しています

 警告	この絵表示の欄は「 死亡または重傷を負う可能性 」があります。
 注意	この絵表示の欄は「 傷害を負ったり物的損害を発生する可能性 」があります。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分しています。

 この絵表示は気をつけて欲しい「 注意喚起 」内容です。	 この絵表示は火傷の可能性がある場合の「 高温注意 」内容です。
 この絵表示は感電の可能性のある場合の「 感電注意 」内容です。	 この絵表示は絶対してはいけない「 禁止 」内容です。

警告

-  ■ レンズの交換作業は、安全のため、必ず交換方法に従い行う。
-  ■ 交換作業の前には、本書およびレンズを取付けるプロジェクターの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
誤ったご使用方法は**火災やけが**、故障の原因となります。
-  ■ **衝撃を与えないでください**
けがや故障の原因となります。レンズをプロジェクターに取付けた状態ではレンズ部が突出する場合がありますので、ぶついたり落としたりしないようにご注意ください。

お守りください

■ レンズの取扱いに注意してください

- ・ レンズを輸送する場合は、レンズキャップを取り付け、レンズ部を保護してください。
- ・ 硬いもので擦ったり、磨いたりしないでください。
- ・ レンズに直接手を触れないでください。レンズがくもったり汚れたりすると、画像品質に悪い影響を及ぼします。
- ・ レンズは精密光学機器です。衝撃や振動を与えないよう、取扱には充分注意をお願いいたします。
- ・ レンズを置く時は、前面部を下にして、柔らかい布の上に置いてください。

■ お手入れについて

- ・ レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃に使用するもの）で行ってください。
- ・ その他の部分はガーゼなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布を良く絞って、軽く拭いてください。
- ・ ベンジンやシンナーなどの溶剤、研磨剤など上記以外の洗剤や薬品などはご使用にならないでください。

以下の記述は EU 加盟国にのみ適用します。

右記のマーク表示は WEEE(Waste Electrical and Electronic Equipment Directive 2012/19/EU) に基づくものです。

このマークは、このマークが表示されている製品を、一般のゴミとして廃棄してはならず、廃棄を行う国や地域の規則に従って適切な回収システムを使用しなければならないことを示します。



使用方法

- ・ プロジェクターの取扱説明書に従って画像を投写し、投写サイズやフォーカスを調整してください。
- ・ オプションレンズの投写距離については、本説明書の **Projection distance table** (投写距離表) をご参照ください。

お知らせ

- ・ 投写サイズによっては画像の周辺部分が中心と比べてフォーカスのバランスが取りにくい場合があります。中心と周辺部分のバランスが合うようにフォーカスを調整してください。
- ・ 各仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。
- ・ ズームレンズは、ズーム位置によって、画面に多少の歪みを生じることがあります。
- ・ キーストン補正量(台形歪み補正量)が大きい場合、画面に歪みが生じる場合があります。
- ・ レンズによっては、キーストン補正量(台形歪み補正量)が制限される場合があります。

About IEC 62471-5

明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC62471-5 : 2015。



RISK GROUP 2

CAUTION

Possibly hazardous optical radiation emitted from this product.

Do not stare at operating lamp. May be harmful to the eyes.

GRUPE DE RISQUE 2

ATTENTION

Rayonnements optiques potentiellement dangereux émis par ce produit.

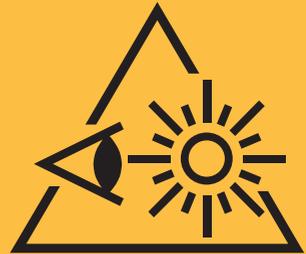
Ne regardez pas la lampe en fonctionnement. Peut être nocif pour les yeux.

RISIKOGRUPPE 2

ACHTUNG

Dieses Gerät gibt möglicherweise gefährliche optische Strahlung aus.

Bei Betrieb nicht direkt in die Lampe blicken. Dies könnte Augenschäden verursachen.



RG2



3262152001

交換作業上のご注意

警告

-  ■ 日光や照明光が直接あたるところ、熱器具のそばなどには置かないでください。
レンズの特性上、火災の原因となります。また故障や損傷の原因となることがあります。
-  ■ レンズ交換作業の際は、必ず電源プラグを抜いてください。
プロジェクターの内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
-  ■ レンズ交換の前は、電源プラグを抜き、放置してプロジェクター本体を十分冷ましてください。
-  ■ レンズの交換作業の際、本体内部やレンズのコネクタなどへホコリが入らないようご注意ください。
内部にホコリがたまった状態で使用し続けると火災、感電の原因となる場合があります。
-  ■ プロジェクターを天井（天吊り）や高所に設置している場合は、レンズの交換作業を必ず販売店へご依頼ください。
けがや故障の原因となります。

注意

-  ■ 取付け作業の際、プロジェクター内部の光学部品には、手を触れたり衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となる場合があります。また、光学調整にずれが生じて再調整が必要となります。
-  ■ 取付け作業の際、プロジェクターのコネクターや線材を傷めないようご注意ください。
故障の原因となる場合があります。コネクターや線材を無理に引っばったり、基板やケースに挟んだりしないようご注意ください。

付属品の確認

この製品には、レンズ以外に次のものが含まれます。

品名	型名	付属品
超短焦点ズームレンズ	USL-901A	レンズキャップ (前側、後側) オプションレンズ 取扱説明書
短焦点ズームレンズ	SL-902	レンズキャップ (前側、後側) オプションレンズ 取扱説明書
標準ズームレンズ	SD-903	レンズキャップ (前側、後側) オプションレンズ 取扱説明書
中焦点ズームレンズ	ML-904	レンズキャップ (前側、後側) オプションレンズ 取扱説明書
長焦点ズームレンズ	LL-905	レンズキャップ (前側、後側) オプションレンズ 取扱説明書
超長焦点ズームレンズ	UL-906	レンズキャップ (前側、後側) オプションレンズ 取扱説明書

仕様一覧

型名		USL-901A	SL-902	SD-903
ズーム / フォーカス		電動		
レンズシフト	上下方向	+50% - -22%	+60% - -22%	
	左右方向	+10% - -10%		
F 値		1.8 - 2.3	1.8 - 2.3	1.6 - 2.0
焦点距離		11 - 14 mm	17 - 25 mm	24 - 36 mm
ズーム比		1.3 : 1	1.5 : 1	1.5 : 1
投写比		0.8 - 1.0:1	1.1 - 1.7:1	1.6 - 2.4:1
投写範囲		50 - 600 inch		
質量 (約)		1.9 kg	2.0 kg	1.3 kg

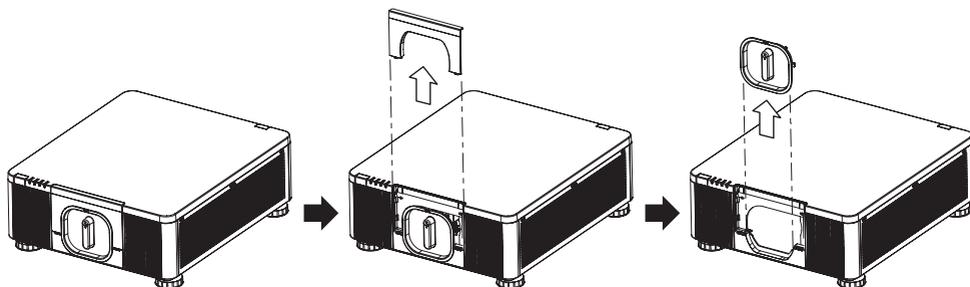
型名		ML-904	LL-905	UL-906
ズーム / フォーカス		電動		
レンズシフト	上下方向	+60% - -22%		
	左右方向	+10% - -10%		
F 値		1.8 - 2.3	1.8 - 2.2	1.8 - 2.3
焦点距離		35 - 54 mm	51 - 83 mm	82 - 130 mm
ズーム比		1.5 : 1	1.6 : 1	1.6 : 1
投写比		2.4 - 3.6:1	3.5 - 5.6:1	5.5 - 8.8:1
投写範囲		50 - 600 inch		
質量 (約)		1.8 kg	1.9 kg	1.8 kg

レンズの取り付けと取り外し方法

レンズの交換や取り外しの際は、あらかじめレンズシフトを中心位置に戻してください。レンズシフトの中心位置への戻し方は、プロジェクター本体の取り扱い説明書、または本説明書の「レンズを取り外す」をご確認ください。

レンズを取り付ける

1. フロントカバーを取り外します。



お知らせ

- 対応機種につきましては、本書に記載以外の機種も対応している場合があります。最新情報に関しましては、下記の弊社 WEB サイトをご確認ください。

http://biz.maxell.com/en/display_equipment/

Maxell, Ltd.

5030 Totsuka-cho, Totsuka-ku, Yokohama-shi, Kanagawa 244-0003 Japan



http://biz.maxell.com/ja/display_equipment/

マクセル株式会社

〒 244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 5030 番地

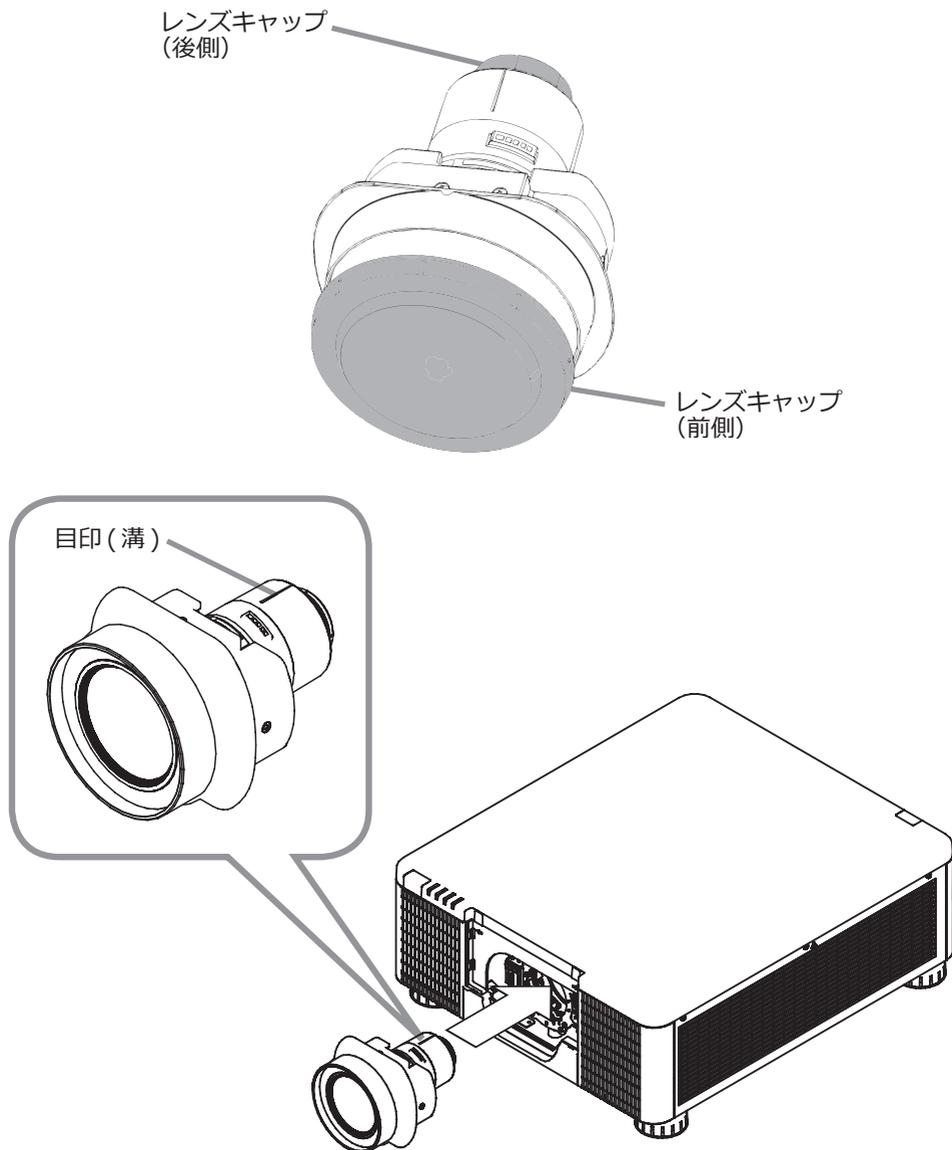


- 本書に記載している内容は代表機種であり、お手持ちの機種によっては本書と仕様が異なる場合があります。詳細はプロジェクター本体の取扱説明書、または弊社 WEB サイトをご参照ください。

レンズを取り付ける (つづき)

2. レンズを取り付ける。

- (1) レンズキャップを取り外します。レンズの目印 (溝) を上向きにしてプロジェクター本体にはめ込みます。



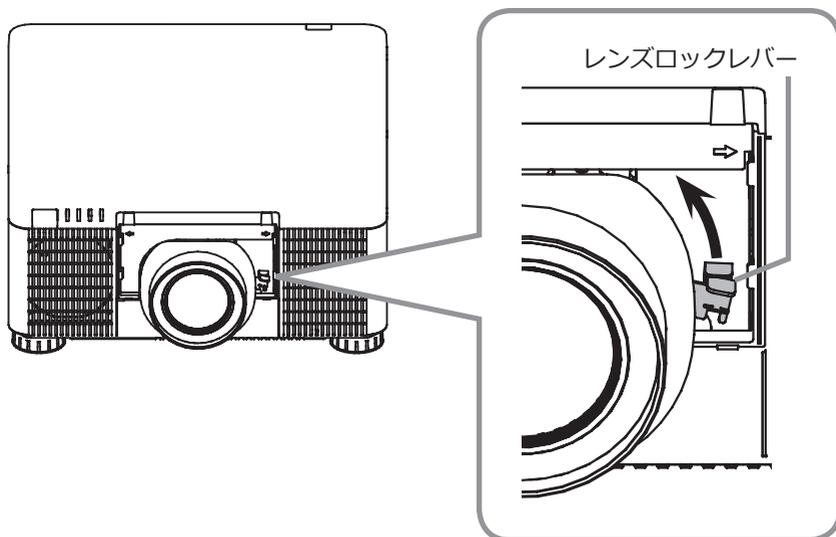
レンズを取り付ける（つづき）

⚠ 注意

- レンズキャップを取り付けたままプロジェクター本体に取り付けると故障の原因となります。
- レンズを取り付ける際は、レンズ面をプロジェクター本体に当てないでください、故障の原因となることがあります。
- レンズに付いているコネクタには、手を触れたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

2. レンズを取り付ける。（つづき）

- (2) レンズを支えながら、レンズロックレバーを「カチッ」とロックするまで矢印の方向に押し上げ、レンズを取り付けます。

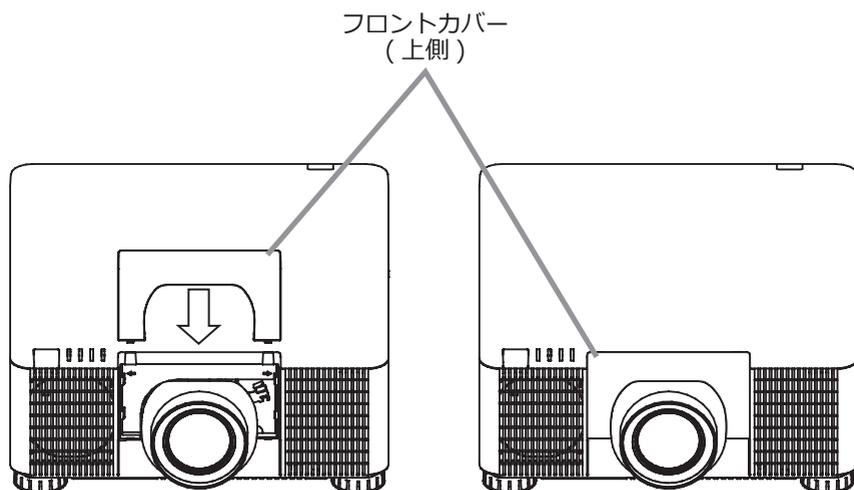


レンズを取り付ける（つづき）

⚠ 警告

■レンズの脱落防止のため、レンズ取り付け後、レンズが正しく取り付けられているか、レンズが動かないことを確認してください。レンズが落下すると、けがの原因となったり、レンズおよび周囲のものを損傷することがあります。

3. フロントカバーを取り付けます。
フロントカバーをプロジェクター本体にはめ込みます。



レンズを取り外す

1. レンズシフトを中心位置に戻します。

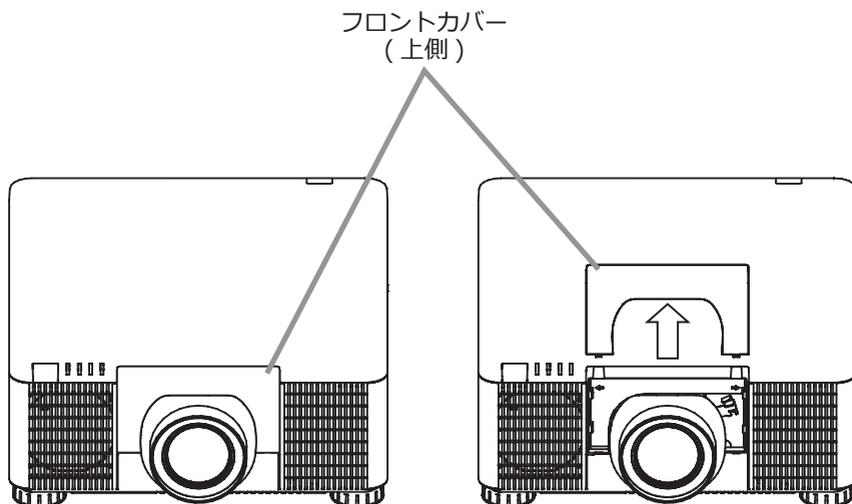
- (1) **LENS SHIFT** ボタンを押してください。レンズシフトダイアログが表示されます。
- (2) レンズシフトメニューの「センタリング」を選択し、**ENTER** または **▼** ボタンを押してください。または、操作パネルの **LENS CENTERING** ボタンを押してください。レンズを中心位置にもどす、センタリング機能を実行するか、確認メッセージが表示されます。
- (3) **▶** ボタンを押すと、センタリング機能を実行します。

2. プロジェクター本体の電源を切る。

プロジェクター本体の電源を切って、電源プラグを抜き、放置して十分に冷ましてください。

3. フロントカバーを取り外します。

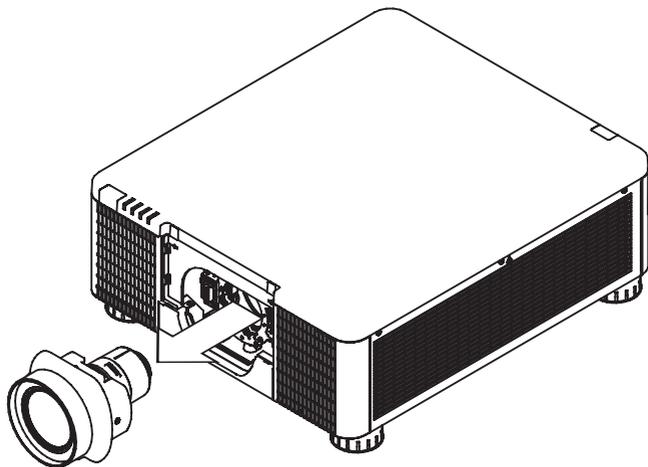
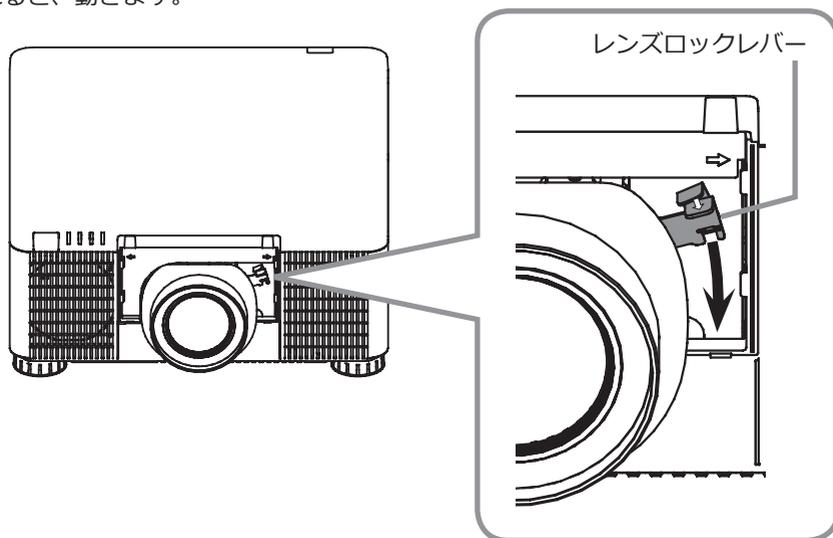
フロントカバーを下から押しながら、上にスライドさせて、プロジェクター本体から取り外します。



レンズを取り外す（つづき）

4. レンズを取り外します。

レンズを支えながら、レンズロックレバーを矢印の方向に押し下げ、レンズを取り外します。レンズロックレバーは、上側のプレートが下側のプレートに触れるまで下げられると、動きます。



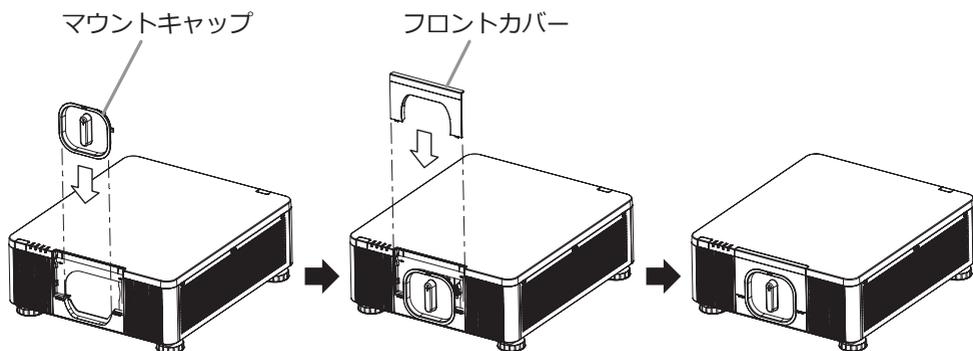
⚠ 注意

- レンズを取り外す際は、レンズ面をプロジェクター本体に当てないでください、故障の原因となることがあります。
- レンズに付いているコネクタには、手を触れたり衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

レンズを取り外す（つづき）

5. マウントキャップとフロントカバーを取り付けます。

マウントキャップとフロントカバーをプロジェクター本体にはめ込みます。



お知らせ

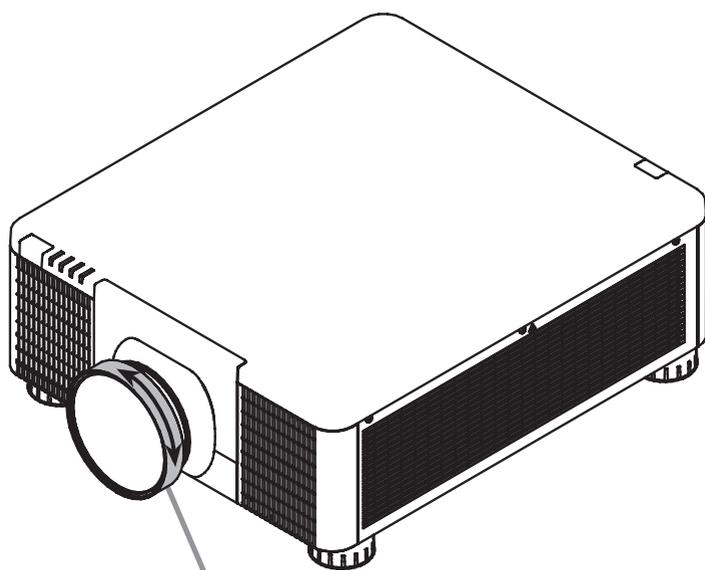
レンズ取付部分に汚れが入らないように、マウントキャップをはめ込んでください。

超短焦点ズームレンズについて (USL-901A)

超短焦点ズームレンズは、投写サイズによって、投写画面の中心と周辺部分のフォーカスのバランスが変化します。本レンズには、このバランスが調整できるフォーカス調整機能があります。

フォーカス調整方法

1. 画面中心のフォーカスを合わせる。
プロジェクター本体のリモコンまたは操作パネルで画面中心のフォーカスを合わせる。
2. 周辺部分のフォーカスを合わせる。
図のようにフォーカス調整リングを手でまわし、画面周辺のフォーカスを合わせる。



フォーカス調整リング

お知らせ

レンズに表示している投写サイズと目盛りは、おおよその目安です。